

【特許請求の範囲】

【請求項1】 配信を希望するユーザのユーザ端末、配信会社側サーバ及び前記ユーザと前記配信会社との仲介を行う仲介会社側サーバとを有するシステムにおける音楽配信方法において、

前記仲介会社側サーバは、前記ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、前記曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、前記配信会社へ前記曲名情報及び前記ユーザの宛先情報を送信し、

前記配信会社側サーバは、前記曲名情報及び前記ユーザの宛先情報を受信し、前記曲名情報に対応する曲データを特定し、前記特定された曲データを前記ユーザの宛先情報に基づいて前記ユーザに送信することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項2】 前記仲介会社側サーバは、前記曲データがデジタル・データとして前記配信会社に保有されているか、アナログ・データとして前記配信会社に保有されているかに応じて、前記ユーザへの課金方法を異ならせる請求項1に記載の音楽配信方法。

【請求項3】 配信を希望するユーザと配信会社との仲介を行う仲介会社における音楽配信方法であって、前記仲介会社側サーバは、

前記ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、

前記曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、

前記配信会社へ前記曲名情報及び前記ユーザの宛先情報を送信することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項4】 前記宛先情報は、ユーザのEメールアドレスである請求項1又は3に記載の音楽配信方法。

【請求項5】 配信を希望するユーザと配信会社との仲介を行う仲介会社における音楽配信方法であって、前記仲介会社側サーバは、

前記ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、

前記曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、

前記配信会社へ前記曲名情報を送信し、

前記配信会社から前記曲名情報に対応する曲データを受信し、

前記曲データを前記ユーザに送信することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項6】 前記仲介会社側サーバは、前記曲データがデジタル・データとして前記配信会社に保有されているか、アナログ・データとして前記配信会社に保有されているかに応じて、前記ユーザへの課金方法を異ならせる請求項5に記載の音楽配信方法。

【請求項7】 前記仲介会社側サーバは、前記曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定できない

場合には、その旨の情報を前記ユーザに送信する請求項5に記載の音楽配信方法。

【請求項8】 前記仲介会社側サーバは、前記曲データを前記ユーザが指定する圧縮方式で送信する請求項5に記載の音楽配信方法。

【請求項9】 配信を希望するユーザと配信会社との仲介を行う仲介会社における音楽配信方法であって、前記仲介会社側サーバは、

前記ユーザから配信を希望する曲に関連する関連情報を受信し、

前記関連情報に基づいて曲名情報を検索し、

前記曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、

前記配信会社へ前記ユーザの宛先情報を送信することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項10】 前記関連情報は、配信を希望する曲の歌手名、音楽ジャンル又はヒット時期である請求項9に記載の音楽配信方法。

【請求項11】 前記仲介会社側サーバは、曲名情報と曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社の情報を記憶した曲名データベースに基づいて前記配信会社の特定を行う請求項1～10の何れか一項に記載の仲介方法。

【請求項12】 配信を希望するユーザと配信会社との仲介を行う仲介会社における音楽配信方法であって、前記仲介会社側サーバは、

前記ユーザからユーザの嗜好に関する情報を受信し、

ユーザ・データベースに前記嗜好に関する情報を記憶し、

前記配信会社から新しく配信を開始する曲名情報を受信し、

曲名データベースに前記曲名情報を記録し、

前記ユーザ・データベース及び前記曲名データベースに基づいて前記嗜好に関する情報に合致した曲名情報を検索し、

前記検索された曲名情報を前記ユーザに送信することを特徴とする音楽配信方法。

【請求項13】 前記ユーザの嗜好に関する情報は、歌手名又は音楽ジャンルである請求項12に記載の音楽配信方法。

【請求項14】 レンタルを希望するユーザとレンタル会社との仲介を行う仲介会社における仲介方法であって、前記仲介会社側サーバは、

前記ユーザからレンタルを希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、

前記曲名情報に対応するデータを保有するレンタル会社を特定し、前記ユーザに報知することを特徴とする仲介方法。

【請求項15】 前記仲介会社側サーバは、前記レンタル会社へ前記曲名情報及び前記ユーザ情報を送信するこ

とを特徴とする請求項14に記載の仲介方法。

【請求項16】 前記仲介会社側サーバは、曲名情報と曲名情報に対応するパッケージメディアを保有するレンタル会社の情報を記憶した曲名データベースに基づいて前記レンタル会社の特定を行う請求項14に記載の仲介方法。

【請求項17】 前記曲名データベースは、前記レンタル会社の位置情報を含む請求項16に記載の仲介方法。

【請求項18】 前記前記仲介会社側サーバは、レンタル会社の位置情報に基づいて、レンタル会社を特定する請求項17に記載の仲介方法。

【請求項19】 前記仲介会社側サーバは、さらに、前記曲名情報及び前記ユーザ情報に基づいて、前記レンタルを希望する曲の予約を行うための情報を送信する請求項14に記載の仲介方法。

【請求項20】 前記仲介会社側サーバは、さらに、前記レンタル会社に前記予約を行うための情報を送信した旨の情報を前記ユーザに送信する請求項14に記載の仲介方法。

【請求項21】 配信を希望するユーザと配信会社及びレンタル会社との仲介を行う仲介会社における仲介方法であって、前記仲介会社側サーバは、前記ユーザから配信又はレンタルを希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、前記受信した曲名情報を蓄積し、前記蓄積された曲名情報から各曲毎の配信又はレンタル履歴情報を求めることを特徴とする仲介方法。

【請求項22】 前記仲介会社側サーバは、前記配信又は履歴情報を配信会社又はレンタル会社へ送信する請求項21に記載する仲介方法。

【請求項23】 配信を希望するユーザのユーザ端末、配信会社側サーバ及び前記ユーザと前記配信会社との仲介を行う仲介会社側サーバとを有するシステムにおける音楽配信方法において、前記仲介会社側サーバは、前記ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、前記曲名情報に対応する曲データを保有する複数の配信会社を特定し、前記複数の配信会社に前記曲名情報及び前記ユーザの宛先情報を送信し、前記複数の配信会社側サーバの各々は、前記曲名情報に対応する曲データを配信する場合の配信価格情報を前記仲介会社側サーバに送信し、前記仲介会社側サーバは、前記複数の配信会社側サーバの各々から受信した複数の配信価格情報を前記ユーザ側端末へ送信し、前記ユーザ側端末は、前記複数の配信価格情報を受信して、1つの配信会社を特定し、前記特定された配信会社を表す情報を前記仲介会社側サーバに送信し、前記仲介会社側サーバは、前記特定された配信会社を表す情報を受信し、前記特定された配信会社に対して選択

された旨を表す情報を送信することを特徴とする音楽配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信回線を利用して音楽の曲データを配信する音楽配信方法、及びユーザとレンタル会社とを仲介する仲介方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、インターネット等の通信回線を利用して音楽の曲データを配信するサービスが存在している。これは、音楽の曲データの配信を希望するユーザが、自己のパーソナルコンピュータ(PC)や携帯端末等からインターネットを介して音楽配信用のサイトにアクセスし、音楽配信用のサイトから曲データを自己のPC又は携帯端末のメモリにダウンロードして記憶し、特定の再生ソフトウェアを用いて記憶された曲データを再生するというものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の音楽配信サービスにおいて、音楽配信用のサイトの多くは、最新且つ多くのユーザが配信を希望するようなメジャーな音楽の曲データを準備しているが、各サイトの特徴を出すために、独自の基準によって配信可能な曲コード、配信可能な条件等を定める場合がある。

【0004】また、ユーザの好みも多様化し、必ずしも特定の音楽配信用のサイトのみでは、ユーザが希望する曲コードの曲データの配信を受けることができない場合もあった。さらに、ユーザが希望の曲を入手する手段として、レンタル・ショップからCD等のパッケージメディアのレンタルを受ける場合がある。しかしながら、各レンタル・ショップの品揃えは一樣ではなく、レンタル・ショップに行き調べて始めて、ユーザが希望する曲があるか否かが判明する場合が多い。

【0005】本発明は、上記の不具合を解決するためのものであって、複数の音楽配信会社が所有する曲名情報を有する仲介業者にアクセスすることによって、ユーザの希望する曲がどの音楽配信会社に存在するかを即時に判断することが可能な音楽配信方法を提供することを目的とする。さらに、本発明は、音楽配信会社のみではなく、レンタル会社が所有する曲コード等のデータをも有する仲介業者にアクセスすることによって、ユーザの希望する曲がどのレンタル会社に存在するかを即時に判断することが可能な仲介方法をも提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明による音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、配信会社に曲名情報及びユーザの宛

先情報を送信し、信会社側サーバが、曲名情報及びユーザの宛先情報を受信し、曲名情報に対応する曲データを特定し、特定された曲データをユーザの宛先情報に基づいてユーザに送信することを特徴とする。

【0007】さらに、仲介会社側サーバは、曲データがデジタル・データとして配信会社に保有されているか、アナログ・データとして配信会社に保有されているかに応じて、ユーザへの課金方法を異ならせることが好ましい。また、課題を解決するために、本発明による音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、配信会社に曲名情報及びユーザの宛先情報を送信することを特徴とする。

【0008】さらに、宛先情報は、ユーザのEメールアドレスであることが好ましい。また、上記課題を解決するために、本発明による音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、配信会社から曲名情報に対応する曲データを受信し、曲データをユーザに送信することを特徴とする。

【0009】さらに、仲介会社側サーバは、曲データがデジタル・データとして配信会社に保有されているか、アナログ・データとして配信会社に保有されているかに応じて、ユーザへの課金方法を異ならせることが好ましい。さらに、仲介会社側サーバは、曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定できない場合には、その旨の情報をユーザに送信することが好ましい。

【0010】さらに、仲介会社側サーバは、曲データをユーザが指定する圧縮方式で送信することが好ましい。また、上記課題を解決するために、本発明による音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信を希望する曲に関連する関連情報を受信し、関連情報に基づいて曲名情報を検索し、曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社を特定し、配信会社に前記ユーザの宛先情報を送信することを特徴とする。

【0011】さらに、関連情報は、配信を希望する曲の歌手名、音楽ジャンル又はヒット時期であることが好ましい。さらに、仲介会社側サーバは、曲名情報と曲名情報に対応する曲データを保有する配信会社の情報を記憶した曲名データベースに基づいて配信会社の特定を行うことが好ましい。

【0012】また、上記課題を解決するために、本発明の音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザからユーザの嗜好に関する情報を受信し、ユーザ・データベースに前記嗜好に関する情報を記憶し、配信会社から新しく配信を開始する曲名情報を受信し、データベースに前記曲名情報を記録し、嗜好に関する情報に合致した曲名情報を検索し、検索された曲名情報を前記ユーザに送信

することを特徴とする。

【0013】さらに、ユーザの嗜好に関する情報は、歌手名又は音楽ジャンルであることが好ましい。また、上記課題を解決するために、本発明の仲介方法は、仲介会社側サーバが、ユーザからレンタルを希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、曲名情報に対応するデータを保有するレンタル会社を特定し、ユーザに報知することを特徴とする。

【0014】さらに、仲介会社側サーバは、レンタル会社に曲名情報及び前記ユーザ情報を送信することが好ましい。さらに、仲介会社側サーバは、曲名情報と曲名情報に対応するパッケージメディアを保有するレンタル会社の情報を記憶した曲名データベースに基づいてレンタル会社の特定を行うことが好ましく、またレンタル会社の位置情報に基づいて、レンタル会社を特定することが好ましい。

【0015】さらに、曲名データベースは、レンタル会社の位置情報を含むことが好ましい。さらに、仲介会社側サーバは、曲名情報及びユーザ情報に基づいて、レンタルを希望する曲の予約を行うための情報を送信することが好ましく、またレンタル会社に予約を行うための情報を送信した旨の情報をユーザに送信することが好ましい。

【0016】また、上記課題を解決するために、本発明の仲介方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信又はレンタルを希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、受信した曲名情報を蓄積し、蓄積された曲名情報から各曲毎の配信又はレンタル履歴情報を求めることを特徴とする。さらに、仲介会社側サーバは、配信又は履歴情報を配信会社又はレンタル会社へ送信することが好ましい。

【0017】また、上記課題を解決するために、本発明の音楽配信方法は、仲介会社側サーバが、ユーザから配信を希望する曲を特定するための曲名情報を受信し、曲名情報に対応する曲データを保有する複数の配信会社を特定し、複数の配信会社に曲名情報及びユーザの宛先情報を送信し、複数の配信会社側サーバの各々が、曲名情報に対応する曲データを配信する場合の配信価格情報を仲介会社側サーバに送信し、仲介会社側サーバが、複数の配信会社側サーバの各々から受信した複数の配信価格情報をユーザ側端末へ送信し、ユーザ側端末が、複数の配信価格情報を受信して1つの配信会社を特定し、特定された配信会社を表す情報を前記仲介会社側サーバに送信し、仲介会社側サーバが、特定された配信会社を表す情報を受信し、特定された配信会社に対して選択された旨を表す情報を送信することを特徴とする。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明について図を用いて説明する。

(第1の実施形態)図1は、本発明の第1の実施形態に

係わるシステムを説明するための概略図である。10はインターネット等のネットワーク、20は配信会社側サーバ、30はプロバイダ、50は仲介会社側サーバ、60は金融機関端末、70は複数のレンタル会社側端末である。各種サーバ及び端末は、ネットワーク10に接続されている。また、プロバイダ30にはさらに電話回線等を利用して複数のユーザ端末40がアクセス可能に接続されている。ユーザ端末40は、PCや携帯電話等である。なお、図1には記載されていないが、配信会社は1社に限らず、複数の配信会社がネットワークに接続されていることが好ましい。

【0019】配信会社側サーバ20は、CPU等から構成され、各種通信機能及びデータ処理機能等を有する処理部21、キーボード及びマウス等から構成され、各種データの入力可能な入力部22、ディスプレイ及びプリンタ等から構成され、各種データの表示又はプリントアウト等が可能な出力部23、メモリ等から構成され、各種データの記憶が可能な記憶部24を有している。また、入力部22は、A/D変換器を有しており、レコード・プレイヤー等からのアナログ・データをデジタル・データに変換して入力することが可能に構成されている。さらに、記憶部24には、少なくともメインプログラム、曲データ・データベース25（以下「曲データDB」と言う）が記憶されている。

【0020】仲介会社側サーバ50は、CPU等から構成され、各種通信機能及びデータ処理機能等を有する処理部51、キーボード及びマウス等から構成され、各種データの入力可能な入力部52、ディスプレイ及びプリンタ等から構成され、各種データの表示又はプリントアウト等が可能な出力部53、メモリ等から構成され、各種データの記憶が可能な記憶部54を有している。また、記憶部54には、少なくともメインプログラム、ユーザ・データベース55（以下「ユーザDB」と言う）及び曲名コード・データベース56（以下「曲名コードDB」と言う）が記憶されている。

【0021】図2は、本発明に係る第1の実施形態における手順を示すフロー図である。ここでは、ユーザが仲介会社にアクセスし、配信会社から曲データの配信を受ける場合の手順が説明されている。なお、この手順は、仲介会社側サーバ50では、記憶部54に記憶されたメインプログラムにしたがって処理部51が実行する。最初に、ユーザ端末40は、プロバイダ30等を介して仲介会社側サーバ50にアクセスし、ユーザID、及び配信又はレンタルを希望する曲名コードを送信する。次に、仲介会社側サーバ50は、ユーザID及び配信等を希望する曲名コードを受信し（ステップ202）、受信したユーザIDを用い、記憶部54に記憶されているユーザDBに基づいてアクセスしてきたユーザを特定する（ステップ203）。ユーザDB55は、図3に記載されるように、ユーザIDデータ301、ユーザ名データ

302、ユーザのE-mailアドレスデータ303、住所データ304、性別データ305、年齢データ306、好きな音楽のジャンルのデータ307、好きな歌手データ308、ユーザの所有するPC等で使用するデータ圧縮の解凍方法のデータ309等のデータ項目から構成される。

【0022】ユーザDB55の各データは、仲介会社側サーバ50から提供される図4に示されるような「ユーザ個人情報入力画面」を用いて、ユーザ側端末40から入力され、その後仲介会社側サーバ50で受信するようになり、予め記憶されているものである。また、ユーザDB55の各データは、後述する仲介会社側サーバから各ユーザへの情報提供を行うため用いられる。

【0023】次に、仲介会社側サーバ50は、受信した曲名コードを用いて、記憶部54に記憶されている曲名DB56を検索する（ステップ204）。曲名DB56は、図5に示されるように、曲名コードデータ501、データ形式を表すデータ502、保管場所データ503、保管場所の位置データ504、該当曲のジャンルを示すデータ505、該当曲を歌っている歌手のデータ506、該当曲がヒットした時期を表すデータ507、該当曲の曲データの圧縮方法を表すデータ508、及び該当曲の配信又はレンタルを行う場合の提供価格を示すデータ509等のデータ項目から構成される。

【0024】データ形式を表すデータ502の「D」はデジタル・データとして保管場所の配信会社に記憶されていることを示し、「A」はアナログ・データとして保管場所の配信会社に保管されていることを示し、「P」はパッケージメディアとしてレンタル会社から貸し出されていることを示している。アナログ・データとしては、LPレコード、SPレコード、ラジオやテレビ放送を録画した磁気テープ等としてという意味である。またパッケージメディアとしては、CDとしてという意味である。

【0025】なお、ユーザ端末40で、曲名コードを入力せず、歌手名、ヒット時期等の関連情報のみを入力して仲介会社サーバ50に送信し、仲介会社側サーバはそれらの関連情報を受信して曲名DB56で検索して、候補を抽出し、候補をユーザ側端末40に送信して、候補の中から希望する曲名コードを入力してもらうことも可能である。このように仲介会社側サーバ50が、曲名コードの検索機能を有することが好ましい。

【0026】次に、検索の結果、曲名DB56内に、受信した曲名コードの該当があるか否かが判断される（ステップ205）。該当が無い場合には、受信した曲名コードに該当するデジタル・データ及びアナログ・データ等が存在しない訳であるから、アクセスしてきたユーザ端末40に対して、該当がない旨のデータを送信し（ステップ215）、一連の処理を終了する（ステップ217）。

【0027】ステップ206で該当データがあると判断された場合には、次にその曲コードに対応するデータが存在する保管場所が特定される(ステップ206)。例えば、曲コード1002についてアクセスがあったと仮定すると、図5に示される曲名DB56を用いて、配信会社A、配信会社B、配信会社C及びレンタル会社Aに希望する曲があることが特定されることとなる。

【0028】次に、仲介会社側サーバからユーザ端末40に対して、どこに希望する曲が保管されているかを示すデータが送信され(ステップ207)、ユーザ側端末40で受信される。次に、ユーザ端末40で、どの保管場所を選択するか情報が入力されて、仲介会社側サーバ50へ送信され、仲介会社側サーバ50で受信される(ステップ208)。このステップ207及び208は、実際には図6のような画面を用いて行われることができる。図6では、曲コード1002に対して、4つの保管場所が存在することが表示されており、このような画面が仲介会社側サーバ50から送信されて、ユーザ端末40に表示される。ユーザは、複数の配信会社A〜Cから、配信価格等を参考にして配信を希望する会社の601〜603の部分をクリックすることにより選択し、605の部分をクリックすることにより、仲介会社側サーバ50へその旨を送信することができる。また、レンタルで済ませようとする場合には、606の部分をクリックして配信を希望しなくなった旨を仲介会社側サーバ50へ送信することもできる。

【0029】次に、仲介会社側サーバ50は、ステップ208で受信した選択情報に基づいて、ユーザが配信を希望しているか否かを判断する(ステップ209)。ユーザが配信を希望していないと判断した場合(レンタルを希望した場合等)には、配信を行わない旨を送信し(ステップ216)、一連の手順を終了する(ステップ217)。

【0030】ステップ209で、ユーザが配信を希望する場合には、ユーザによって選択された配信会社に対して、曲名コードが送信される(ステップ210)。図6において、例えばユーザが601のボタンにより配信会社Aを選択した場合には、配信会社Aへ、曲名コード1002が送信されることとなる。次に、配信会社側サーバ20が、曲名コードを受信し(ステップ211)、記憶部24の曲データDB25から曲名コードに対応する曲データが検索されて、仲介会社側サーバ50へ送信される(ステップ212)。曲データDB25は、図7に示されるように、曲名コード701及び曲データ702等のデータ項目から構成されている。また、曲データ702は、MP3(MPEG1 Audio Layer 3)という形式に変換されて記憶されているが、他の圧縮形式、例えばTwinVQ、Windows(登録商標)Media Technologies、又はATRAC(登録商標)3等によって圧縮されたデータ形

式を採用することも可能である。

【0031】なお、デジタル・データとして配信会社Aの曲データDB25に記憶されておらず、アナログ・データとして保管されている場合には、入力部22においてデジタル・データに変換される。例えば、アナログ・データがSPレコードの場合、レコード・プレイヤーで該当するSPレコードを演奏し、レコード・プレイヤーからの出力アナログ・データを、入力部22のA/D変換器でデジタル・データに変換する。この場合、即ち、配信会社A内にアナログ・データとして保管されている場合には、直ぐに配信をすることができないので、配信可能日が、アクセスしてきたユーザ端末40に対して送信される。「配信可能日」とは、予め決められた日時を経過した日を言い、「予め決められた日時」とは、配信会社A内で通常の手順によって以下に示すアナログ・データの配信準備を完了するのに必要な時間等に基づいて定められる。ユーザは、「配信可能日」に再度、仲介会社側サーバ50にアクセスして、希望する曲データの配信を受けることができる。尚、このアナログデジタル変換された曲のデジタルデータは配信会社あるいは仲介会社のサーバに保管しておくことにより、次回以降の配信要求に対して通常のデジタル曲データと同様に配信することができる。

【0032】次に、仲介会社側サーバは、曲データを受信し(ステップ213)、その後ユーザ端末40へ受信した曲データを送信して(ステップ214)、一連の手順が終了する(ステップ217)。ユーザDB55の圧縮解凍方法を示すデータ309に基づいて、アクセスしてきたユーザが使用している圧縮方法を確認し、配信会社側サーバ20から受信した曲データをユーザの圧縮方法に変換して送信することも可能である。

【0033】なお、配信による手数料は、予め決められている決済方法により、決済される。例えば、提携金融機関端末60(クレジットカード会社等)に対する配信会社Aからの手数料の支払請求に応じて、金融機関から手数料が仲介会社へ支払われると共に、金融機関端末60からユーザ端末40に対して支払請求が行われるといった方式を採用することができる。この場合に、アナログ・データに基づいて、配信を行う場合には、A/D変換をする作業が増える等の手間がかかるため、既にデジタル・データとして記憶されている曲よりも高い手数料を要求するようにしても良い。例えば、デジタル・データに基づく場合が、200円/曲であるのに対し、アナログ・データに基づく場合が、300円/曲とすることができる。なお、仲介会社は、事前の契約に基づいて適切な時期に一括して各配信会社との清算を行うようにすれば良い。

【0034】また、ユーザは、希望する曲のレンタル貸し出しをするレンタル会社複数ある場合には、レンタル会社の位置情報により、最適なレンタル会社を選択す

ることが可能となる。さらに、レンタル会社側サーバ70とデータのやり取りを行うことによって、希望する曲の貸し出し状況をユーザ側端末40で確認することや、レンタルの予約を行うようにすることが可能である。

【0035】このように、ユーザは、仲介会社側サーバ50にさえアクセスすれば、希望する曲データの配信又はレンタル会社の情報を入手することができ、希望する曲データにアクセスするまでの手間を大幅に軽減することが可能となる。また、仲介会社側サーバ50は、ユーザ端末からの配信履歴やレンタル履歴を蓄積し、各配信会社やレンタル会社へ市場動向を判断する資料として有料又は無料で提供することが可能である。

(第2の実施形態) 本発明の第2の実施形態は、図1に示すシステムと同様のシステムにおいて実施される。図8は、本発明に係る第2の実施形態を示すフロー図である。ここでは、ユーザが仲介会社側にアクセスし、配信会社から曲データの配信を受ける場合の手順が説明されている。なお、この手順は、仲介会社側サーバ50では、記憶部54に記憶されたメインプログラムにしたがって処理部51が実行する。第2の実施形態においては、第1の実施形態とは異なり、配信会社側サーバ20が直接ユーザ側端末に曲データの配信を行う手順となっている。

【0036】図8において、ステップ801～809、815及び816は、図2のステップ201～209、215及び216と同一であるので、ここではその説明を省略する。ステップ809で、ユーザが配信を希望する場合には、ユーザによって選択された配信会社に対して、曲名コード及びユーザ端末のEメールアドレスが、ユーザへの宛先情報として送信される(ステップ810)。

【0037】次に、配信会社側サーバ20が、曲名コード及びユーザ側端末のEメールアドレスを受信し(ステップ811)、記憶部24の曲データDB25から曲名コードに対応する曲データが検索されて、受信したEメール先のアドレスのユーザ側端末40へ直接送信される(ステップ812)。次に、配信会社側サーバ20は、ユーザ側端末に指定された曲データの送信完了後、送信が完了した旨のデータを仲介会社側サーバ50へ送信する(ステップ813)。仲介会社側サーバ50では、この送信が完了した旨のデータを受信して(ステップ814)、一連の手順を終了する(ステップ817)。

【0038】なお、ユーザ側端末40と仲介会社側サーバがネットワーク10を介して接続されている状態で、配信会社側サーバ20からユーザ側端末40への曲データの送信(配信又はダウンロード)を実行することが難しい場合には、配信会社側サーバ20からユーザ側端末40にEメール等で、配信準備が完了した旨の連絡を行い、その連絡を受け取った後に、再度ユーザが配信会

社にアクセスして配信を受けるようにすることも可能である。

(第3の実施形態) 本発明の第3の実施形態は、図1に示すシステムと同様のシステムにおいて実施される。図9は、本発明に係る第3の実施形態を示すフロー図である。ここでは、ユーザが仲介会社側にアクセスし、配信会社から曲データの配信を受ける場合の手順が説明されている。なお、この手順は、仲介会社側サーバ50では、記憶部54に記憶されたメインプログラムにしたがって処理部51が実行する。

【0039】最初に、ユーザ側端末40は、プロバイダ30等を介して仲介会社側サーバ50にアクセスし、ユーザID、及び配信を希望する曲名コードを送信する。次に、仲介会社側サーバ50は、ユーザID及び配信等を希望する曲名コードを受信し(ステップ902)、受信したユーザIDを用い、記憶部54に記憶されているユーザDBに基づいてアクセスしてきたユーザを特定する(ステップ903)。

【0040】次に、仲介会社側サーバ50は、受信した曲名コードを、予め所定の提携関係にある配信会社側サーバ40を含む複数の配信会社側サーバへ送信する(ステップ904)。配信会社側サーバ40を含む複数のサーバは、曲名コードを受信し(ステップ905)、各自の曲データDB25を用いて、受信した曲名コードに該当する曲データがあるか否かを検索する(ステップ906)。

【0041】配信会社側サーバ40を含む複数のサーバは、該当する曲データがあるか否かを示す該当ありなし情報及びその曲データを配信する場合の提供価格に関する情報を送信する(ステップ908)。仲介会社側サーバ50は、複数の配信会社側サーバからの該当ありなし情報及び配信価格情報を受信する(ステップ908)。送信を行った全ての配信会社から受信した該当ありなし情報が判断され(ステップ909)、該当する曲データが全くない場合には、該当なしをユーザ側端末40に送信して(ステップ916)、一連の手順を終了する(ステップ917)。

【0042】ステップ909で、何れかの配信会社に該当する曲の曲データがある場合には、仲介会社側サーバ50は、ステップ908で受信した配信価格情報に基づき、もっとも配信価格の低い配信会社を選択する(ステップ910)。また、配信価格が同一の場合には、予め決められた基準に応じて選択がなされるように設定されており、さらに配信会社を選択する基準は他の基準であっても良い。次に、仲介会社側サーバ50は、ステップ904において曲名コードを送信した全ての配信会社側サーバに選択結果を送信する(ステップ911)。選択結果とは、最も配信価格が低いことから選択された配信会社側サーバへは、配信を要求する旨の情報を言い、それ以外の配信会社側サーバへは配信を要求しない旨の情

報を言う。

【0043】各配信会社側サーバでは、選択結果を受信し(ステップ912)、配信を要求された配信会社側サーバは、曲データを送信する(ステップ913)。なお、第2の実施形態のように、仲介会社側サーバへ曲データを送信せず、直接ユーザ端末40へ送信するようにしても良い。次に、仲介会社側サーバ50は、曲データを受信し(ステップ914)、その後ユーザ側端末40へ受信した曲データを送信して(ステップ915)、一連の手順が終了する(ステップ917)。

【0044】このように、ユーザは、仲介会社側サーバ50にさえアクセスすれば、希望する曲データの配信又はレンタル会社の情報を入手することができ、希望する曲データにアクセスするまでの手間を大幅に軽減することが可能となる。

(第4の実施形態)本発明の第4の実施形態は、図1に示すシステムと同様のシステムにおいて実施される。図10は、本発明に係る第4の実施形態を示すフロー図である。ここでは、仲介会社側端末が、各配信会社が入手した新着情報を収集し、ユーザに関連する情報を発信する手順が説明されている。なお、この手順は、仲介会社側サーバ50では、記憶部54に記憶されたメインプログラムにしたがって処理部51が実行する。

【0045】最初に、配信会社側サーバ40を含む複数の配信会社が新たに配信することとなった、曲の曲名コード、データ形式、歌手名、提供価格等の曲名情報及び曲データが、配信会社側サーバ40の入力部22から入力される(ステップ1002)。入力された曲データは、曲データDB25に記憶され、入力された曲名情報は、仲介会社側サーバ50に送信される(ステップ1003)。なお、曲名情報を所定のデータベースに記憶することも可能である。

【0046】次に、仲介会社側サーバ50は、曲名情報を受信し(ステップ1004)、どの配信会社から送信されてきたかの情報と合わせて曲名DB56に記憶し、曲名DB56が更新される(ステップ1005)。次に、各ユーザ毎に、ユーザの好きなジャンル、好きな歌手等のユーザの嗜好を表すデータがユーザDB55から検索される(ステップ1006)。次に検索されたユーザの嗜好を表すデータが、新たに曲名DB56に記憶された曲のジャンル、歌手等のデータと突き合わされ、合致するものがあるかどうか判断される(ステップ1007)。例えば、図3に示されるユーザDBの一例において、ユーザID=100002のユーザの好きなジャンルは「ポップス」であり、新たに曲名DB56に記憶されたデータが図5に示されるような曲名コード1001及び1002である場合、曲名コード1002の曲がユーザの嗜好に合致した曲と判断されることとなる。

【0047】該当する曲があった場合には、ユーザDB56に記憶されているユーザのEメールアドレスに、

曲名コード1002の曲が配信可能になった旨、配信可能な配信会社名、配信価格等をEメールの形式にして送信する(ステップ1008)。ユーザは受信したEメールを開くことによって、自分の嗜好に合致した曲データの配信が受けられることを知ることとなる。

【0048】その後、仲介会社側サーバ50から、新着曲の登録が完了した旨のデータが送信され(ステップ1009)、配信会社側サーバ20で受信されて(ステップ1010)、一連の手順が終了する(ステップ1011)。なお、ステップ1007において該当する曲があった場合も同様である。このようにして、予め提携している複数の配信会社から各種の新着情報が逐一仲介会社側サーバ50に集められ、ユーザからのアクセスに対して準備が整えられる。また、予め記憶されているユーザの嗜好に合致した新着情報が見つかった場合には、その情報がユーザに自動的に送信されることとなる。

【0049】上述した1〜4の実施形態においては、曲の識別を曲コードを用いて行っているが、曲名を用いて行うようにしても良い。

【0050】

【発明の効果】ユーザは、仲介会社側サーバ50にさえアクセスすれば、希望する曲データの配信又はレンタル会社の情報を入手することができ、希望する曲データにアクセスするまでの手間を大幅に軽減することが可能となる。また、ユーザは、予め記憶されているユーザの嗜好に合致した新着情報が見つかった場合には、その情報を自動的に受信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の音楽配信方法又は仲介方法を実施するためのシステムの概要を示す図である。

【図2】第1の実施形態に係わる音楽配信方法又は仲介方法の手順を示すフロー図である。

【図3】ユーザDBの一例を示す図である。

【図4】ユーザの個人情報を入力するための画面例を示す図である。

【図5】曲名DBの一例を示す図である。

【図6】保管場所情報を表す画面例を示す図である。

【図7】曲データDBの一例を示す図である。

【図8】第2の実施形態に係わる音楽配信方法又は仲介方法の手順を示すフロー図である。

【図9】第3の実施形態に係わる音楽配信方法又は仲介方法の手順を示すフロー図である。

【図10】第4の実施形態に係わる音楽配信方法又は仲介方法の手順を示すフロー図である。

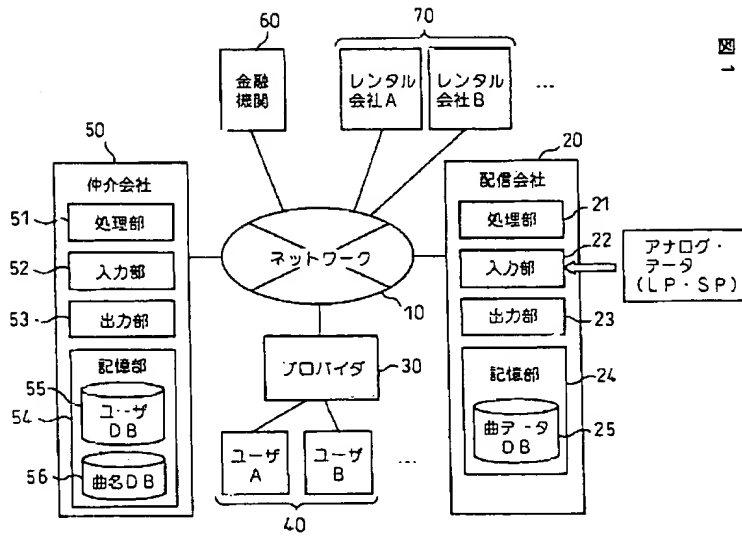
【符号の説明】

10…ネットワーク
20…配信会社サーバ
30…プロバイダ
40…ユーザ端末
50…仲介会社側サーバ

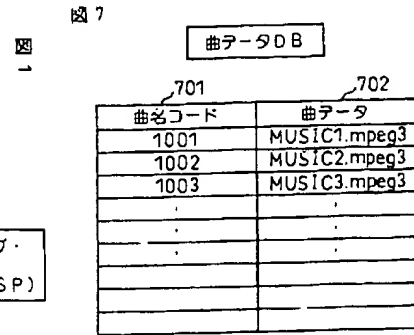
60…金融機関

70…レンタル会社側端末

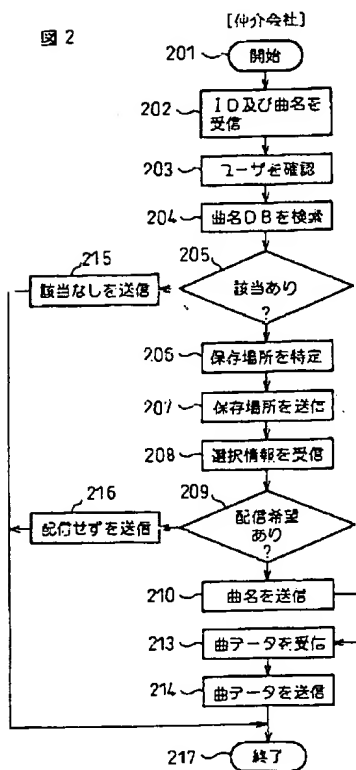
【図1】



【図7】



【図2】



【図4】

【配信会社】

図 4

ユーザ個人情報入力画面

ユーザID	
ユーザ名	
E-mailアドレス	
住所	
性別	
年齢	
好きなジャンル	
好きな歌手	
圧縮解凍方法	

【例3】

ユーザDB

[illegible]

【図5】

曲名DB

[illegible]

【図6】

保管場所情報

曲名: X X X X X (コード: 1002)

601 ☒ 配付会社 A 価格: 200円

602 ☒ 配付会社 B 価格: 230円

603 ☒ 配付会社 C 価格: 250円

604 ☒ レンタル会社 A 価格: 120円 位置: X X X X X

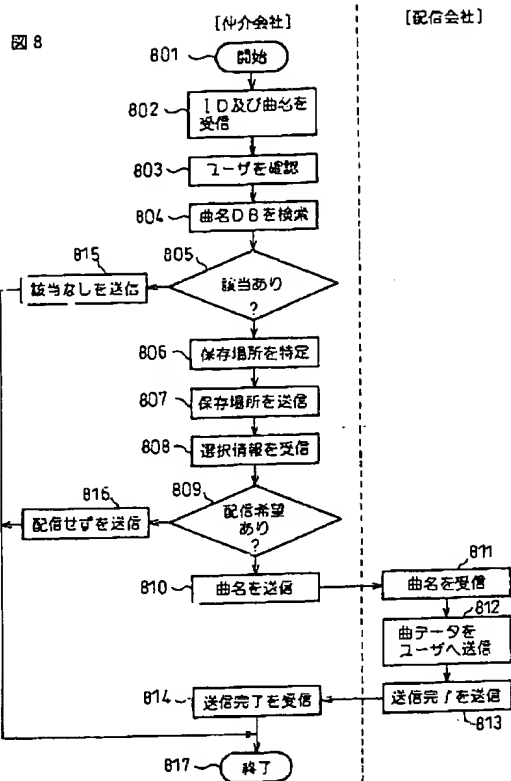
605

配信を希望する

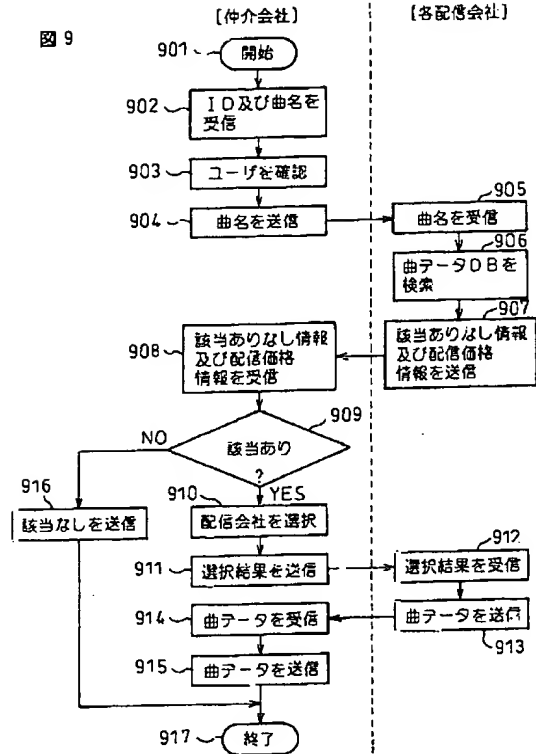
606

配信を希望しない

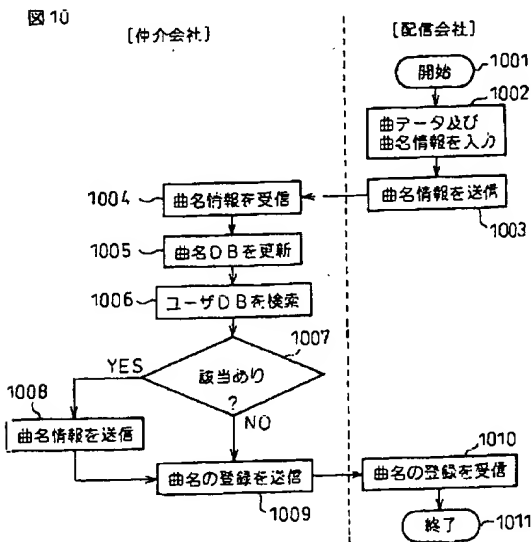
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

(参考)

H 0 4 H 1/02

H 0 4 H 1/02

F

(72)発明者 小村 俊哉

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 鈴木 慶一

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 臼井 大祐

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 水野 正孝

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 浅見 秀夫

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 川畑 靖夫

兵庫県神戸市兵庫区御所通 1 丁目 2 番 28 号
富士通テン株式会社内

F ターム(参考) 5B049 BB11 CC03 CC05 CC08 CC36

DD01 DD05 EE01 EE05 FF03

FF04 FF09 GG04 GG07

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINE(S) OR MARK(S) ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.